

■ 学校の共通目標

授業づくり	重点	・基礎・基本の充実を図るとともに、主体性のある学びを通して学習の質を高める。	中間評価		最終評価	
		・ユニバーサルデザイン・アクティブラーニングを意識した授業環境整備を行い、落ち着いた学習環境を心がける。				

■ 教科の取組み内容

教科	学習状況の分析（4月）	課題（4月）	改善のための取組み（4月）	中間評価・追加する取組み（10月）	最終評価（2月）
国語	<p>調 昨年度同様、現第2学年、現第3学年ともに、全国平均値・目標値をほとんどの項目で上回っている。</p> <p>調 観点別で現2学年の言語に対する知識・理解・技能のみ、目標値を3・6ポイント下回っている。</p>	<p>・選択式問題の解答ができるだけでは、本当の力がついたりはいえない。自分の力で考え、自分の力で記述・表現することができるような指導を継続していかなければならない。</p> <p>・言語に関する知識・理解・技能の力を伸ばすために、きちんと知識を定着させるような授業を行う。</p> <p>・作文の力を伸ばすために、短作文を行って成果があがってきている。今年度も文章を書く力をさらに伸ばさなければならない。</p>	<p>・定期考査は選択式問題よりも、文章中の表現を根拠に自分の考えを論理的に述べる解答を要求するような問題を多く出題する。</p> <p>・漢字テストを毎週行う。文法等は授業終了時、単元終了時などこまめに小テストを行い、言語事項の知識の定着を図るとともに、学期毎に定着度を確認する。</p> <p>・自分の考えを自分の言葉で表現する力を養うために、200字作文を中心に作文を書く機会を計画的に増やす。</p>		
社会	<p>調 領域別で点別で現2学年の世界の諸地域のみ、目標値を上回っている。</p> <p>調 現第2学年、現第3学年ともに、全国平均値・目標値をほとんどの項目で下回っている。</p> <p>調 特に現3学年の基礎が目標値より9ポイント低い。</p>	<p>・両学年とも、もほとんどの項目で目標値を下回っていることから、基礎学力の向上が課題である。</p>	<p>・基礎学力を定着させるために、毎時間の復習テストを実施し、繰り返しの学習を行い、学期ごとに定着度の点検を行う。</p> <p>・ビデオ教材を取り入れ、生徒の興味・関心を高める。</p>		
数学	<p>調 数と式の分野では目標値を下回っている。</p> <p>調 図形の分野では目標値を1、2年とも上回り、特に現2学年の図形の分野では7.6ポイントも上回った。</p>	<p>・両学年とも、図形の分野以外では目標値を下回っていることから、まずは基礎学力の向上が課題。</p>	<p>・現2学年では、基礎学力を定着させるために、毎時間5分間計算ドリルを行う。また、各定期考査において定着度の検証を行う。</p> <p>・現3学年は復習から授業に入ることで、躓きを確認してから入るようにすることで、自信を持たせ、関心・意欲を育てる。</p>		
理科	<p>調 標準スコアを見ると、現2学年44.5ポイント、現3学年46.4ポイントといずれも50ポイントを下回っているが、現3学年に関しては、昨年度より1.3ポイント上昇している。</p> <p>調 現2学年のエネルギー分野について、正答率が28.2ポイントと目標値46.7を大きく下回っており、課題となっている。</p> <p>学 ワークシート、レポート、ノートの提出についてはよく取り組んでいる。</p>	<p>・2学年・3学年ともに、基礎・基本の充実が大きな課題である。</p> <p>・与えられた課題に対し、自分で考え、まとめる力をつける必要がある。</p>	<p>・基礎の充実を図るため、現3学年については授業開始時に重要語句の反復学習を行う。また、定期考査への出題を通して、定着度の検証を図る。</p> <p>・小単元・単元ごとに確認テストを行い、学習の定着度を確認する。</p> <p>・既習事項の確認を意識して授業に組み入れ、基礎学力の充実を図る。</p> <p>・実験レポート等、自分の考えをまとめる機会を作り、思考力・表現力の向上を図る。</p>		
英語	<p>調 現2学年は、昨年度の校内平均よりも全体的に下回っているが、目標値には達している。特に外国語理解の能力が特に優れていた。</p> <p>調 現3学年は、昨年度の校内平均よりも全体的にかなり上回っていた。表現の能力は昨年度とほぼ同じくらいだった。</p>	<p>・現2学年は、外国語の表現能力を高める、言語・文化についての知識・理解の能力を高めていく必要がある。</p> <p>・現3学年は、他の観点より正答率の低い、外国語表現の能力を高めていく必要がある。</p>	<p>・現2学年、現3学年の授業において、話したり、聞いたりしたことを書くという活動を重点的に行う機会を増やし、こまめに生徒の書いたものをチェックする。また、口頭で表現する能力を身に付けるために、授業の冒頭で簡単な会話練習を繰り返す行う。</p> <p>・上記に加え、現2学年では、基礎的な知識も不足しているため、1年時の復習を授業の中で時折、既習の教科書を使って行う。</p>		